

新磯 いいひと

第51号

発行日 2024年3月15日
発行 新磯地区社会福祉協議会
事務局 南区磯部 916-3
(新磯まちづくりセンター内)
電話 046-244-3733

新磯地区社会福祉協議会

くすのき学習教室 開校!



新磯地区社会福祉協議会では令和4年度より、子どもの居場所づくりの一環として、長期の休みを利用し小学生を対象に、学習教室を実施しました。時には勉強のあと、子ども食堂(地域の協力者による)でカレーを食べたり、ゲームを楽しんだりしました。5年度になり、この教室を定期的に実施できないのか? 摸索していた時、以前相模原南児童ホームで、新磯地区の小学生を対象に実施していたが、コロナ禍で休止し、再開を検討していた事を受け、地区社協と南児童ホームで協議を重ねた結果、共催として「くすのき学習教室」を開校することとなりました。

11月11日には開校式があり、式典のあと、利用についての説明や、児童を支援するボランティアとの交流会がありました。

子どもたちの学力向上を目指すとともに、地域の居場所づくりに取り組んでいく予定です。

くすのき学習教室、児童募集中!!

日時 毎月第2・第4土曜日

1・2・3年生 9時〜9時45分
4・5・6年生 10時〜11時45分

場所 相模原南児童ホーム ☎ 046-251-5590

申込QRコード 

新磯桜まつり お年寄り招待会



参加の旨を回答された皆さんにお土産(紅白饅頭)を用意してお待ちしています。ご自宅に持ち帰ってお召し上がり下さい。

開催日 令和6年3月24日(日)
受付時間 10時15分〜12時
受付場所 新磯公民館

- ① 晴天時: 小会議室1
- ② 雨天時: 料理実習室

対象 80歳以上の方
※予め「参加」回答済の方

「新磯災害時要援護者に対する支援について」

令和3年度より誰もが安心して暮らせるまちづくりをさらに一歩進めるために、地域住民が協力して活動できるような仕組みづくりを検討してまいりました。

新磯地区にとって喫緊の課題である、災害時に自ら避難することが困難であると思われる高齢者や障がいのある方に対して支援体制を整えるために「災害時要援護者に対する支援運営委員会」を立ち上げました。

今年度、相模原市との協働事業としまして「新磯災害時要援護者に対する支援における避難行動要援護者名簿の登録及び個別避難計画作成に関する同意確認」を進めております。



令和5年8月より、地域福祉支援員山崎が皆様のお手伝いをさせていただきます。これからよろしくお願いします。



受賞おめでとうございます!

(敬称略、順不同)

○相模原市社会福祉協議会/社会福祉大会顕彰者表彰
鈴木 真司 氏 (地区社協 幹事)

○共同募金運動/神奈川県共募会長感謝表彰
佐田 昌史 氏 (地区民児協 会長)



募金報告

日本赤十字会員増強運動 593,930円
 賛助会員会費(市社協) 527,240円
 赤い羽根共同募金 569,007円
 地区社協街頭募金 22,119円
 年末たすけあい共同募金 271,383円
 福祉募金 ※新磯いいひと第52号で報告

ご寄付

さがみのキリスト教会
 5,810円
 野頭 重一様 1,450円



ご協力ありがとうございました

編集後記

昨年10月小学校の同窓会があり出席しました。2年前に皆で喜寿を祝う予定がコロナ禍で延期になりました。懐かしい顔に会えた喜びを噛み締めながら、楽しいひとときでした。(S)

一月に入って朝晩は寒いですが、日中は日の光があたたかく、わが家の庭にも冬に咲く香りのよいロウバイが彩りを添えています。幾分春らしくなってきました。(O)

さざんか さざんか 咲いた道、たき火だ たき火だ
おちばたき・・・
今年さざんかも良く咲いている、たき火をして暖を取る事も今は昔の話!? 春よこい、早くこい・・・(Y)

視察研修を実施しました！

「人間を救うのは、人間だ」

これは昨年11月29日、社会福祉協議会の主に民児協とボランティア対象の視察研修で日本赤十字社 神奈川県支部を見学、資料が入ったクリアファイルに書かれていた言葉です。

知っていますか？このマークの意味。

赤十字に所属している人、建物、車両などを表すマーク、もう一つ大切なのは世界中の戦争や紛争で傷ついた人々を救うために活動している人々を守るためのマークでもあります。戦争や紛争の時、このマークを付けて中立の立場で救護活動を行っている人、場所は絶対に攻撃してはいけないと決められています。(ジュネーブ条約です)

- + 赤十字はキリスト教を連想すると、イスラム教徒は C 赤新月、
- ◆ レッドクリスタルを使用しています。

こうして、マークの説明に始まり、歴史、活動、災害時の備え等々。2階の情報プラザへ移動、地域奉仕団や特殊奉仕団の活動の説明等。

特に今年は正月早々の地震!! 災害地での活動は筆舌には尽くしがたく、記憶に新しいことではないでしょうか。これらの日赤活動の経費は日頃の皆さんの募金による協力が大です。

参加された皆さんはどんな感想を持ち帰ったでしょうか？



事業ボランティア

9月13日、ご長寿おめでとございます。

地区社協会長の挨拶状他、敬老の祝品「ようかん」を主に袋に入れ、午後は民児協の方達が引取りに来るとい、対象者80才以上約1,000名分!?年々増えているのも世の常。

最初はあれこれ会話ははずんでいたが時計の針が昼近くなる頃は(終わるかな?)と誰も手が忙しく動いた。

10月12日、地区レク(15日)の昼休み募金にご協力いただいた方へ配付するアメの袋詰め、事業ボランティアの皆さん手慣れた手付きでの作業でしたが、当日は残念ながら雨天で地区レクは中止になってしまいました。



福祉講座

昨年9月21日「いつかのために、今知ろう」～暮らしを支える仕組みへの講座が開催され、大勢の皆様に参加していただきました。

講師は新磯地域包括支援センターの早田センター長です。はじめにセンターについての説明があり、次に高齢者が地域とかかわる制度や仕組みを考え、どのような暮らしが出来るか、日頃から考えておくとよい、という内容でした。

当日のテーマでもある「充実した豊かな生活」を過ごせるような地域づくりがすすめられるといいですね。

第2弾は2月15日でした。81名の参加があり、大会議室は満員でした。「また聞きたい」「わかりやすい」との声を多数いただき、大盛況でした。



ふれあい・いきいきサロン

～中高生夏休みボランティアチャレンジスクール～

相模原市市民活動中間支援施設連絡会(相模ボラディア)の主催で毎年夏休み開催されているスクールもコロナ禍で今年度は4年ぶり。目的は、体験を通じて自分自身に対する気づき、人間的な成長、地域での施設、団体の活動に関心を深める事。

8月27日、新磯のサロンに参加されたのは新磯野在住の2姉妹でした。ポッチャは初めてというお二人と約1時間それは楽しい時を過ごす事ができ、体験を公表のまとめの会では「知らなかった地域の事を知る事が出来楽しいひとときでした」。嬉しい感想でした。



給食サービス

お弁当は季節感のある食材を使い、給食ボランティアの皆さんによる手作りで栄養バランスを考えた愛情たっぷりの献立です。独り暮らしの高齢者の方へ民生委員児童委員の皆さんにご協力いただいております。



11月メニュー
きのこの炊き込みご飯
焼き鮭、煮物
だし巻き卵、りんご



ちょこっとサポートしたい

ちょこっとサポートしたいは新磯地区にお住いの高齢者世帯や子育て世帯の、日常生活でのちょっとした困りごとをすみやかにお手伝いする活動です。

★サポーターとして一緒に活動していただける仲間を募集中です。

【主な活動内容】

- ・買い物代行・ゴミ出し・草むしり
- ・電球交換・重たい物の移動

【利用料金】

- 30分以内・・・300円
- 60分以内・・・500円
- ゴミ出し・・・1回100円

利用依頼窓口(お気軽にご連絡ください) ☎070-3542-3010



傾聴講座

今年度、ちょこっとサポートしたいでは傾聴講座を開催致しました。「聴き上手になろう!身近な人とより良い関係を築くためのコツをつかみましよう」



東京家政大学 杉山教授
に講演していただき楽しい時間を過ごしました。

令和6年度 新磯子育てサロンのご案内

対象者 ・0歳児のお子さんと保護者
・妊娠中のお母さん

場所 新磯公民館2階 多目的室

時間 10:00~11:30



日程(毎月第4金曜日 ※12月は第3金曜日)

- 4月26日(金) 8月 お休み 12月20日(金)
- 5月24日(金) 9月27日(金) 1月24日(金)
- 6月28日(金) 10月25日(金) 2月21日(金)
- 7月26日(金) 11月22日(金) 3月28日(金)

ベビーヨガ

親子で楽しく交流できるようにイベントも行っています。主任児童委員・ボランティアの皆さんとお待ちしています。気軽にご参加ください。

クリスマス会

